

# あ げ お 議会 だより



第210号  
令和6年(2024)  
2月号

発行 / 上尾市議会  
編集 / 議会報編集委員会  
〒362-8501  
埼玉県上尾市本町3-1-1  
電話 048-775-9467



## 新たな30人の顔ぶれ

1月10日、改選後初の議会が開催され、議長に田中一崇議員、副議長に井上茂議員が就任しました。その他、各常任委員会や議会運営委員会などの委員構成が決定しました。詳しくは、2～3ページをご覧ください。

## 主な内容

【令和6年1月臨時会】	
議長・副議長あいさつ、委員会・会派構成…	2～3ページ
【令和5年12月定例会】	
審議された主な議案 ……………	4ページ
委員会審査、討論 ……………	4～5ページ
提出議案・請願とその結果 ……	6～7ページ
市政に対する一般質問 ……	8～15ページ
委員会活動 ……………	16ページ

# 一般選挙後 **初** の議会を開催

## 議長・副議長、各委員会構成などが決まる

1月10日、一般選挙後初となる臨時会が開催され、議長に田中一崇議員、副議長に井上茂議員が就任しました。また各常任委員会や議会運営委員会などの構成が決定しましたので、お知らせいたします。

### 田中議長・井上副議長就任あいさつ



議長 田中 一崇



副議長 井上 茂

私たちは、1月10日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長ならびに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、公平公正かつ円滑な議会運営に最善の努力を尽くしてまいります。

さて、私たちの生活に多大な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に5類感染症に移行し、社会経済活動の大幅な緩和が進む一方、原油価格高騰に伴う物価高が続き、地域経済の現状は、依然として厳しいものと認識しております。

そのような中、市議会では、市民福祉の増進と市政の発展に寄与するため、議会・議員の活動原則、市民・市長などとの関係、議会の機能強化など、議会に関する基本的事項を規定した議会の最高規範となる議会基本条例を制定しました。

市議会といたしましては、引き続き、市民の皆さまの声を市政に反映させるとともに、二元代表制の一翼としての役割を果たし、上尾に住んで良かったと思える魅力あるまちづくり、そして、本市の発展のため、全力を尽くしてまいります。

市民の皆さまには、市議会の活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のあいさつとさせていただきます。

## 会派構成

会派とは、同じ考えや意見を持つ議員が結成するグループのことです。上尾市議会では3人以上で結成することができます。

※○は会派の代表を示し、代表以外は議席番号順です。

### ■あげお志誠ネットワーク (9人)

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| ○大室 尚 | 黒須喜美雄 | 小池 佑弥 |
| 田島 純  | 原田 嘉明 | 新道 龍一 |
| 田中 一崇 | 斎藤 哲雄 | 星野 良行 |

### ■政策フォーラム・市民の声あげお (7人)

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| ○海老原直矢 | 稲村久美子 | 樋口 敦  |
| 荒川 昌佑  | 矢口 豊人 | 浦和 三郎 |
| 井上 茂   |       |       |

### ■公明党上尾市議団 (5人)

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| ○前島 るり | 篠原 文子 | 島津 秋男 |
| 小高 進   | 井上 智則 |       |

### ■日本共産党上尾市議団 (4人)

- |        |       |      |
|--------|-------|------|
| ○平田 通子 | 井上 淳子 | 轟 信一 |
| 新藤 孝子  |       |      |

### ■会派に属さない議員 (5人)

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 坂東 知子 | 津田ひとみ | 秋山かほる |
| 金澤 祥子 | 佐藤恵理子 |       |

## ■常任委員会

上尾市議会では、市の事務に関する調査や議案審査などを効率よく行うため、4つの常任委員会を設置しており、議員はいずれかの常任委員会に所属することになっています。(◎が委員長、○が副委員長)

### 総務常任委員会 8人

◎原田 嘉明 ○平田 通子 黒須喜美雄  
秋山かほる 齋藤 哲雄 樋口 敦  
前島 るり 井上 茂

#### 【所管事項】

市政の企画・調整、広報・広聴、財政、市税、財産管理、市有建築物の建築・修繕、防災・危機管理、交通・防犯など

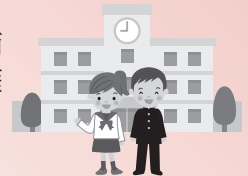


### 文教経済常任委員会 7人

◎井上 智則 ○小池 佑弥 坂東 知子  
島津 秋男 井上 淳子 大室 尚  
荒川 昌佑

#### 【所管事項】

環境保全、廃棄物、農業・商業の振興、学校教育、生涯学習、スポーツ振興など



### 都市整備消防常任委員会 7人

◎田島 純 ○矢口 豊人 田中 一崇  
篠原 文子 佐藤恵理子 新藤 孝子  
海老原直矢

#### 【所管事項】

都市計画、市街地整備、建築行政、開発行政、公園・緑地、道路・橋りょう、上水道、下水道、河川、消防行政など

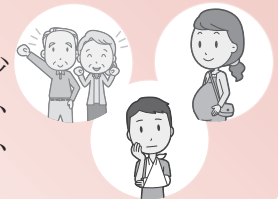


### 健康福祉常任委員会 8人

◎浦和 三郎 ○轟 信一 津田ひとみ  
新道 龍一 小高 進 稲村久美子  
金澤 祥子 星野 良行

#### 【所管事項】

福祉全般、子育て支援、青少年、介護保険、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、健康増進、生活保護など



## ■議会運営委員会 10人

議会運営のため議員間の意見調整を行い、会期、議事日程など議会を円滑に進行させるとともに、議会に関する条例・規則などの審査に当たります。

◎新道 龍一 ○井上 智則 原田 嘉明  
小高 進 轟 信一 大室 尚  
樋口 敦 荒川 昌佑 新藤 孝子  
海老原直矢

## ■議会報編集委員会 8人

「あげお議会だより」の編集・発行、市議会ホームページの運用などの協議・調整に当たります。

◎小池 佑弥 ○稲村久美子 黒須喜美雄  
田島 純 篠原 文子 島津 秋男  
井上 淳子 荒川 昌佑

## ■一部事務組合議会議員

地方公共団体の事務の一部を効率よく広域で処理するために、一部事務組合が設置されています。上尾市が構成団体となっている一部事務組合は3つあり、その議会に一定数の議員が選出されています。

- 上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員 (3団体、定数12人) 原田嘉明、轟信一、齋藤哲雄、前島るり、海老原直矢
- 埼玉県都市ポートレース企業団議会議員 (15団体、定数28人) 田中一崇
- 上尾伊奈資源循環組合議会議員 (2団体、定数8人) 新道龍一、井上淳子、星野良行、井上智則、矢口豊人、浦和三郎

### ■選挙管理委員

上尾市選挙管理委員と同補充員の任期が2月2日で満了となるため、その選挙が行われました。結果は次のとおりです(敬称略)。任期は、令和6年2月3日～令和10年2月2日です。

●選挙管理委員 すずき ひろし まえじま よしみつ おおき やすじ おおぼ れいこ  
鈴木博、前島義光、大木保司、大場玲子

●選挙管理委員補充員 ほんだ なおこ のもと かずんど すがたいずみ よしざわしょういち  
本田直子、野本一人、菅田泉、吉澤彰一

Pick Up!

令和5年12月定例会  
審議された主な議案

12月定例会で審議された議案は、市長提出議案（追加提出議案を含む）22件、議員提出議案6件、委員会提出議案3件の計31件で、29件を原案のとおり可決・同意・異議なき旨答申し、2件を否決しました。

議案第76号 令和5年度上尾市一般会計補正予算（第7号）  
議案第94号 令和5年度上尾市一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出補正額 7億4799万9000円  
歳入歳出補正額 17億8575万4000円

物価高騰対策を含む補正予算を可決

主な事業

- 住民税非課税世帯に7万円を給付
- 学習支援事業を利用する子どもに大学受験・模試などの費用を補助

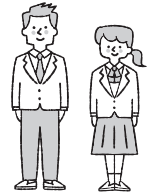
市独自

- 市内小・中学校給食費を2カ月分助成
- 障害者・高齢者施設に10万円を支給
- 自治会へ支援金の支給などを実施

議案第87号 上尾市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について

子ども医療費（通院分）の支給対象を18歳まで拡大

子育てをする保護者の経済的な負担を一層軽減するため、令和6年4月から、通院に係る子ども医療費の支給対象を18歳の年度末まで拡大するもの。



※その他の議案や議決結果については、6～7ページ「令和5年12月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

**請願審査**  
期日前投票所の均等な設置を求める請願を審査

〔メモ〕投票所に行くことができない人の便宜を図るため、期日前投票所を市内の東西南北にバランスよく設置することを求めるもの。  
委員 現状の東西南北のバランスについて、当局の認識は。

答 期日前投票所は市役所、プラザ22、尾山台出張所、アリオ上尾の4カ所に設置しており、東西通してバランスよく配置している。

委員 期日前投票所の設置に当たり、経費や人員配置の影響は。

答 LAN回線の敷設などが必要な場合、100万円程度の経費がかかる。人員については、現在の4カ所で1日30人以上の職員を動員している。投票所の規模にもよ

るが、さらなる職員の確保や会計年度任用職員の任用が必要になる。

都市整備消防常任委員会

**補正予算**  
上尾駅西口ペDESTリアンデッキを修繕

〔メモ〕上尾駅西口のペDESTリアンデッキについて、国庫補助金を活用し、令和6年度に予定していたデッキ全体の塗装および歩道部分の修繕を前倒しして行うもの。  
委員 耐用年数はどの程度か。

答 一般的には40年程度である。5年ごとに法定点検を実施し、必要があれば予防保全措置を行っており、現在工事中の東口は早急に修繕する必要がある。西口は基準を満たしているが、東口の工事と合わせて実施するものである。

文教経済常任委員会

**補正予算**  
小・中学校の樹木の剪定に必要な費用を計上

〔メモ〕小・中学校敷地内において、倒木などの恐れがある樹木を伐採、剪定（せんてい）（枝切り）するもの。

委員 優先順位はあるか。

答 優先順位は付けず、小・中学校合計で89本の樹木を順次全て剪

定、伐採する。  
委員 枝が校庭に出てしまっているような樹木の管理は。

答 危険樹木以外の通常の管理については、基本的に学校長にお願いしている。学校予算で対応できないものについては、教育総務課で対応している。

健康福祉常任委員会

例 国保税の賦課限度額と税率を改定

（メモ） 地方税法施行令の一部改正を踏まえ、国民健康保険税の賦課限度額を引き上げる他、埼玉県国民健康保険運営方針（第2期）に基づき税率を見直すもの。  
委員 比較的所得の高い現役世代が対象となるが、勤労意欲の減少につながるのではないか。

答 賦課限度額を引き上げることによって低所得者層の引き上げを抑制できるという効果もある。市の財政状況や引き上げの理由を、市民に丁寧に周知していきたい。

討論

請願第28号の取り下げ

反対 彩の会 委員会審査で一定

の結論が出ている。請願として扱った以上、責任を持って本会議で表決することが大事だと考える。

令和5年度上尾市一般会計補正予算（第7号）

賛成 公明党 国庫補助金を有効に使い令和6年度事業を前倒しで工事することは、施工時期の平準化にも寄与するもので評価できる。

市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定

反対 共産党 市長、副市長、教育長、議員の期末手当を引き上げるとは、市民生活が物価高騰で困難を極める中理解を得られない。

上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

反対 共産党 県の方針をそのまま受け入れての国保税の値上げは加入者に負担を押し付けるもので、受診抑制につながり命に関わる。

上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

反対 共産党 保育士不足の現状をそのままにして、幼児の面積基準を減らす緩和措置が子どもの安全安心を保つことにはならない。

上尾市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定

賛成 共産党 物価高騰の中、経

済的な負担を軽減するための施策として、子育て世代には大きな支援になる。

賛成 公明党 会派としても毎年要望しており、家庭での負担軽減に寄与するもので、市民の熱い要望に応えたことに高く評価したい。

工事請負契約の変更契約の締結UDトラックス上尾スタジアムスコアボード改修工事

反対 無党派（秋山） ネーミングライツ事業者者に費用負担を一切要望していないことは、今後検討すべき課題だと考える。

令和5年度上尾市一般会計補正予算（第8号）

賛成 共産党 2、3月は子どもたちの進級、進学の時期でもあり、この施策は大変喜ばれる。恒常的な無償化を進めてほしい。

賛成 公明党 国の交付金を活用した本市の独自事業は、保護者支援や事業者支援など、市民に大変喜ばれる内容である。

最低賃金の引き上げと格差是正の実現を求める意見書

反対 同志会 中小企業のさらなる人件費の高騰は、採用コストの増加などにつながり、人手不足が加速するリスクをはらんでいる。

上尾市議会の議員の議員報酬及び

費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

反対 無党派（秋山） 減額の除外項目に「不慮の事故」や「予期せぬ疾病」を追加すべきであり、このままの議案には反対する。

上尾市いじめ問題調査委員会調査に関する請願

反対 彩の会 被害生徒および保護者の同意書あるいは代理委任状がないこと、請願理由の一部に賛同できないこと、調査が不十分とは言えないことから反対する。

同意した人事案件

監査委員に小林淳子氏

監査委員・鈴木彬氏が令和5年12月31日で任期満了となるため、後任として小林淳子氏を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

人権擁護委員に吉澤章子氏、山本敏雄氏、松本弘子氏

人権擁護委員・吉澤章子氏、山本敏雄氏、太幡和子氏が令和6年3月31日で任期満了となるため、太幡氏の後任として松本弘子氏を、他2名については再び人権擁護委員の候補者として推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

12月定例会の動き

12月12日  
本会議  
開会、市長提出議案の上程  
および説明、提出議案に  
対する質疑、委員会付託

12月13日  
委員会  
総務・都市整備消防常任委員会

12月14日  
委員会  
文教経済・健康福祉常任委員会

12月15・18日  
本会議  
一般質問

12月19日  
本会議  
一般質問、追加提出議案の  
上程および説明

12月20日  
本会議  
一般質問

12月21日  
本会議  
一般質問、追加提出議案に  
対する質疑、委員会付託

委員会  
総務・文教経済・健康福祉  
常任委員会

12月25日  
本会議  
委員長報告、討論、採決、  
議員提出議案および委員会  
提出議案の上程、説明、討  
論、採決、閉会

令和5年12月定例会 提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案 (22件)

議案番号	議案名	議決結果
議案第76号	令和5年度上尾市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第77号	令和5年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第78号	令和5年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第79号	令和5年度上尾市水道事業会計補正予算(第2号)	
議案第80号	令和5年度上尾市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第81号	上尾市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第82号	上尾市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	
議案第83号	市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	
議案第84号	上尾市税条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第85号	上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第86号	上尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第87号	上尾市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第88号	工事請負契約の変更契約の締結について【UDトラックス上尾スタジアムスコアボード改修工事】	
議案第89号	町の区域を新たに画し、及び変更することについて	
議案第90号	市道路線の認定について	
議案第91号	市道路線の廃止について	
議案第92号	市道路線の廃止について	
議案第93号	監査委員の選任について【小林淳子氏】	同意
議案第94号	令和5年度上尾市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【吉澤章子氏】	異議なき旨 答申
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【山本敏雄氏】	
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【松本弘子氏】	

◎請願 (3件)

請願番号	請願名	議決結果
請願第27号	上尾市いじめ問題調査委員会 調査に関する請願	採 択
請願第28号	教育委員会の議会等での虚偽答弁に関する請願	取り下げ(注)
請願第29号	期日前投票所を市内の東西南北にバランスよく設置することに関する請願	採 択

(注) 請願第28号は、請願者から取り下げたいとの申し出があり、取り下げを許可することに決定しました。

◎議員提出議案 (6件)

議案番号	議案名	議決結果
議第14号議案	「質の高い公教育」に向けた教員の処遇改善と人材確保を求める意見書	原案可決
議第15号議案	介護従事者の処遇改善を求める意見書	
議第16号議案	最低賃金の引き上げと格差是正の実現を求める意見書	
議第17号議案	ガザ地区での即時の人道的停戦に向けた外交努力を求める意見書	
議第18号議案	オスプレイ墜落事故の原因究明と飛行停止、全面撤去を求める意見書	原案否決
議第19号議案	殺傷兵器の輸出解禁に反対する意見書	

◎委員会提出議案 (3件)

議案番号	議案名	議決結果
委第2号議案	上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
委第3号議案	上尾市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	
委第4号議案	上尾市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願

※○=賛成 ×=反対 ■=退席 ※議長は採決に加わりません。  
 ※一覧に掲載されていない議案・請願は、全会一致で可決・同意・異議なき旨答申・採択。

議案(請願)番号	議決結果	政策・市民の声							上尾同志会					共産党				公明党				彩の会		無党派					
		樋口敦	荒川昌佑	矢口豊人	海老原直矢	鈴木茂	浦和三郎	井上茂	小池佑弥	田島純	原田嘉明	新道龍一	田中一崇	渡辺綱一	轟信一	新藤孝子	戸口佐一	池田達生	平田通子	井上智則	前島るり	長沢純	道下文男	小川明仁	星野良行	大室尚	佐藤恵理子	秋山かほる	
請願第28号の取り下げ	許可することに決定	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×			×	○	○
議案第83号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○			○	○	×	
議案第85号	原案可決	○	○	○	■	○	○	■	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○			○	○	×	
議案第86号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○			○	○	×	
議案第88号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	×	
請願第27号	採択	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	×	×	×	×	○	○	○	○	×			×	○	×	
議第15号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			×	○	○	
議第16号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			×	○	○	
議第18号議案	原案否決	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×			×	×	○	
議第19号議案	原案否決	■	■	■	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	■	■	■	■	×			×	×	○	
委第4号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	×	×	

上尾市議会の

# ここが変わる!

議会運営委員会(鈴木茂委員長、新道龍一副委員長)では、委員会や議員報酬などに関する条例などの改正案を委員会提出議案として12月定例会に提出し、可決されました。

改正された主な内容について、お知らせいたします。

## 1. 災害時などにオンライン委員会が可能に

新型コロナウイルス感染症のまん延により、市議会の運営においても多くの混乱が生じました。また、大規模な災害が起きたときには、議員が集まって会議を開くことが困難になることも想定されます。

そこで、重大な感染症のまん延または災害などが発生したときに、オンラインにより委員会を開催し、自宅などからでも出席することができるよう、規定を改正しました。なお対象となる会議は、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、全員協議会などです(本会議は対象となりません)。



## 2. 長期欠席した議員の報酬を減額に

市議会の本会議を長期間欠席した場合、欠席した日から出席した日の前日までの日数に応じ、議員報酬を減額します。

対象となる会議	本会議
支給割合	91日以上180日以下…80% 181日以上365日以下…70% 366日以上…50% ※期末手当は基準日の前6カ月の平均支給割合で計算

「ここが問題」 「そこが聞きたい」



# 一般質問



## 一般質問とは？

議員が、市に対し事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めたり、質問したりすることです。

12月定例会では、12月15・18・19・20・21日の5日間行われ、21人の議員が市政全般67項目にわたって市当局の見解を求めました。また5日間で延べ141人の皆さんが議会を傍聴しました。

※一部を抜粋し掲載しています。詳細は、2月中旬に市議会ホームページで公開予定です。

※会派名は令和5年12月定例会時点のものです。

各議員の2次元コードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ることで、一般質問の録画映像を視聴できます。



**問** 5年ごとに式典を開催する理由は、10年単位では駄目なのか。  
**答** 市政の発展に長年貢献した人の功績を顕彰するため、5年ごと開催している。10年ごとの場合、表彰機会

**問** 私が考える「不登校・いじめ対策」は、教育にもつと予算を付けることだと思っている。10月に65周年記念式典が開催されたが、その予算でアップピースマイルサポーターなどを何人増員できるか。  
**答** アップピースマイルサポーターであれば7人、スクールソーシャルワーカーであれば11人、さわやか相談室相談員であれば6人の増員分に相当する。

**問** 私ができる「不登校・いじめ対策」は、教育にもつと予算を付けることだと思っている。10月に65周年記念式典が開催されたが、その予算でアップピースマイルサポーターなどを何人増員できるか。  
**答** アップピースマイルサポーターであれば7人、スクールソーシャルワーカーであれば11人、さわやか相談室相談員であれば6人の増員分に相当する。



鈴木 茂 (政策・市民の声)



5年ごとの式典は見直し、未来を担う子どもたちに投資を

**問** 5年ごと、10年ごとの周期で式典を行う主な自治体と数は。  
**答** 県内の40市に調査したところ、5年ごとの開催が本市を含め9市、10年ごとの開催がさいたま市、川越市、熊谷市など22市である。  
**問** さいたま市などは本市より人口が多い。施設が足りないとの回答は今の式典の在り方にとらわれ過ぎている。財源は全て税金である。時代に合わせて考えるべきではないか。  
**答** 今後は対象者を厳選することも含め、式典の在り方を慎重に検討していきたい。

**問** 5年ごと、10年ごとの周期で式典を行う主な自治体と数は。  
**答** 県内の40市に調査したところ、5年ごとの開催が本市を含め9市、10年ごとの開催がさいたま市、川越市、熊谷市など22市である。

**問** さいたま市などは本市より人口が多い。施設が足りないとの回答は今の式典の在り方にとらわれ過ぎている。財源は全て税金である。時代に合わせて考えるべきではないか。  
**答** 今後は対象者を厳選することも含め、式典の在り方を慎重に検討していきたい。

**問** 具体的な施策は。  
**答** 補助金の創設、公共施設への太陽光発電設備の導入検討、断熱改修セミナーの実施、公用車のEV化などを

**問** 現在改定中の環境基本計画案では、省エネルギー設備機器の導入拡大、再生可能エネルギー設備の導入拡大、建築物の省エネルギーの促進、移動手段の脱炭素化の促進の4つを重点施策としている。  
**問** 具体的な施策は。  
**答** 補助金の創設、公共施設への太陽光発電設備の導入検討、断熱改修セミナーの実施、公用車のEV化などを

**問** 市は、2030年度までに2013年度比で温室ガスを46%、2050年までに95%削減するとの目標を掲げている。このゼロカーボンシティ実現に向けた重点施策の内容は。  
**答** 現在改定中の環境基本計画案では、省エネルギー設備機器の導入拡大、再生可能エネルギー設備の導入拡大、建築物の省エネルギーの促進、移動手段の脱炭素化の促進の4つを重点施策としている。



井上 茂 (政策・市民の声)



ゼロカーボンシティ実現のための取り組みを加速化して

**問** 2030年度まで7年しかないが、今後どのような形で進んでいくのか。  
**答** 目標達成のためには、行政が市民・事業者とも団結していく必要がある。市では公共施設の再生エネルギー導入を進めるべく、総合福祉センターの改修に併せ、太陽光発電設備を設置する予定である。また公用車のEV化や断熱セミナーによる市民への啓発など、できることから実施している。太陽光や断熱などの課題は内部で熟慮しており、市全体で機運醸成を高められるよう取り組んでいく。

**問** 2030年度まで7年しかないが、今後どのような形で進んでいくのか。  
**答** 目標達成のためには、行政が市民・事業者とも団結していく必要がある。市では公共施設の再生エネルギー導入を進めるべく、総合福祉センターの改修に併せ、太陽光発電設備を設置する予定である。また公用車のEV化や断熱セミナーによる市民への啓発など、できることから実施している。

**問** 2030年度まで7年しかないが、今後どのような形で進んでいくのか。  
**答** 目標達成のためには、行政が市民・事業者とも団結していく必要がある。市では公共施設の再生エネルギー導入を進めるべく、総合福祉センターの改修に併せ、太陽光発電設備を設置する予定である。また公用車のEV化や断熱セミナーによる市民への啓発など、できることから実施している。

その他の質問  
 ● 学童保育の充実



### ごみ集積所の設置困難に対応し、戸別収集の検討を

海老原直矢 (政策・市民の声)



**問** 現在、ごみ集積所の設置については自治会任せとなっているが、年々設置場所の確保が困難になっている。ごみ集積所の確保について、市の見解は。

**答** ごみ集積所の設置が困難であるとの相談を受けた場合は、必要に応じて現地確認や助言を行っている。現在のところ、ごみ集積所は確保できていると考えている。

**問** 他の方法を考えているか。

**答** 地域からの相談も一部あるが、最終的には集積所は設置できている。今後とも困難事例の相談に丁寧に対応していく。

**問** 民地での確保が困

難であり、道路上で交通に支障のない範囲で設置している状況である。他の自治体では、

自宅の敷地内で引き取りを行う戸別収集を行っているが、本市では行う考えはあるか。

**答** 本市の将来的な見直しは今後の処理体制や搬出費用の負担などを踏まえ、伊奈町との広域化も見据えた効率的な収集運搬体制の検討が必要と考える。

**問** 同規模の自治体の決算を見ると、現在と同程度の予算で可能であると考える。今後、戸別収集についても検討すべきと考えるがいかがか。

**答** 決算額費用の比較は改めて確認するが、戸別収集については検討していく。

● その他の質問  
いじめ・不登校

### 地域リサイクルを改善してゼロカーボンの推進を

荒川昌佑 (政策・市民の声)



**問** 段ボールなどの地域リサイクルは収集日の朝に持っていくが、自治会によつて集会所などに常時置けるスペースがあり、非常に使い勝手がいい。当日だけの収集ではリサイクルが増えないのではないか。

**答** 地域リサイクル事業の集積場所は、各実施団体が地域の実情に応じて決定している。市としては引き続き、回収した資源物を保管する収納庫の購入などに対し補助を行う。

**問** スーパーなど、市内の段ボール回収を行っている民間施設の状況調査を実施すべきではないか。

**答** 11月に実施した市民意識調査において、スーパーマーケットなどの民間施設へ資源物を排出しているか調査を行った。今後、結果を分析していく。

**問** 子育てなどで余裕がなく、資源ごみの回収を増やしてほしいという声が届いている。身近に資源ごみの置き場を増やすことも必要だと思うが、段ボールの一時的な保管場所として、公共施設を活用できないか。

**答** 公共施設に段ボールの保管スペースを確保することは難しい。市としては段ボールの排出を抑制し、ごみの減量を進めるよう、市ホームページ、ごみ分別アプリなどにより啓発を図っていく。

**問** 生活保護の対象とならない65歳以上の年金者に対し、子育て支援における準要保護世帯のように、生活保護と同様の制度はあるか。

**答** 市内在住の65歳以上で住民税非課税世帯を対象にした日常生活用具給付制度の他、同様の要件で要介護4、5の方を対象にした紙おむつ給付制度と要介護高齢者手当支給制度がある。また、65歳以上に限定しないが、介護保険制度では要支援、要介護認定を受けている人で所得状況など一定の条件を満たした場合、介護老人福祉施設などの利用時の居住費と食費の負担軽減がある他、生活困窮者自

● その他の質問  
上尾市の教育  
財政

### 生活に困っている人のための支援の拡充を

秋山かほる (無党派)



**問** 生活保護の対象とならない65歳以上の年金者に対し、子育て支援における準要保護世帯のように、生活保護と同様の制度はあるか。

**答** 市内在住の65歳以上で住民税非課税世帯を対象にした日常生活用具給付制度の他、同様の要件で要介護4、5の方を対象にした紙おむつ給付制度と要介護高齢者手当支給制度がある。また、65歳以上に限定しないが、介護保険制度では要支援、要介護認定を受けている人で所得状況など一定の条件を満たした場合、介護老人福祉施設などの利用時の居住費と食費の負担軽減がある他、生活困窮者自

**問** 生活保護と同様の制度が必要ではないか。

**答** 生活に困っている人が必要に応じた制度を活用できるよう、引き続き制度の周知を図っていきたい。

**問** 10月の生活保護費の基準改定の内容は。

**答** 具体的には、居住費の場合の生活扶助費は65歳の2人世帯では11万2190円から11万5230円に、65歳の単身世帯では6万9530円から7万1990円に改定された。

**問** 給食費負担が免除になる世帯

● その他の質問  
給食費負担が免除になる世帯

### 消防団員はスーパーボランティア 解決困難なネット中傷被害



田島 純 (上尾同志会)



**問** いつ起こるとも分からない災害の現場に駆けつける「スーパーボランティア」とも言える消防団員は、なりわいを持ちながら郷土を守る誇りと自負を持って精励されているが、市民の安心安全につながる消防団員の重要性について伺う。

**答** 昼夜を問わず活動されている消防団員の存在は郷土愛のためのもので心強い限りである。近年は自然災害や大規模地震が懸念されていることから、市民からの期待は増しており、本市にとっても消防団員の確保は喫緊の課題である。訓練と装備の充実を図り、地域防災力の向上につなげたい。

### 職員・議員・地域の知恵を生かした行政経営を



道下文男 (公明党)



**問** 市民から、名字が同じだけの理由で勘違いされてインターネット上で住所が拡散され全く身に覚えのない資料や広告物が大量に送られる、不審物が門前に置かれる、庭に投げ込まれるといった迷惑行為の相談を受けた。約6年前から突如始まった迷惑行為は警察にも相談したが現在も解決せず、悩まされ続けているという。市の相談窓口で類似の相談例はあるのか伺う。

**答** 令和4年度以降、インターネットの被害・困りごとに関する相談が2件あった。

**問** 本市の行政経営の課題と対策を伺う。

**答** 高齢化に伴う扶助費の増加や労働力人口の減少に伴う税収の減少が見込まれる中で、ごみ処理施設の建設や学校施設の更新などの大規模事業が予定されており、本市の行政運営は予算を許さない状況である。持続可能なまちづくりの実現のためには、これまで以上に効率的で効果的な行政運営を行い、より強固で弾力的な財政基盤の確立が必要である。

#### その他の質問

- 期日前投票所の有効性
- 金融リテラシー(金融経済教育)
- その雑草は誰が刈る?

### 不登校に対して一層の支援を



井上智則 (公明党)



**問** 不登校児童生徒の保護者の孤立を防ぐために、市としてどのような取り組みをしているのか。課題を含めて伺う。

**答** 各学校において、登校できない児童生徒はもとより、保護者に対しても電話や家庭訪問、面談などを実施している。教育センターでは、来所相談、電話相談、メール相談を受け付けている。また今年度から教育センターを利用する児童生徒の保護者同士が話し合える場を新たに設けた。教職員に対しても研修会を開催しており、保護者との連携の必要性を周知している。今後の課題としては、

関係機関と連携しながら相談する場や選択肢を広げていくことが挙げられる。

**問** スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員、拡充する考えは。

**答** スクールカウンセラーによる教育相談対応のニーズは高まってきており、学校からの要望もあることから、さらなる充実を図ることができるよう、勤務日数を増やすことなどを県に要望していく。

スクールソーシャルワーカーについては、派遣の状況や支援ニーズなどの現状を踏まえた上で、不登校対策推進委員会が協議しながら適正な配置を検討していく。

#### その他の質問

- 幸齢化社会に向けた認知症対策
- 防犯対策
- 障がい者・難病者への支援強化
- 市長政策室

#### その他の質問

- 第二産業道路延伸後の周辺への影響

原市沼調節池を核としたにぎわいづくりを進めて

にぎわいづくりを進めて



渡辺 綱一(上尾同志会)



問 原市沼を含む綾瀬川流域の浸水被害軽減のため、原市沼調節池の整備が進められているが、現在の進捗状況を伺う。

答 事業主体である埼玉県北本県土整備事務所によると、5つの調節池のうち4つの調節池が完成し、最後の1つとなる「上の池調節池」の完成に向け掘削工事などを進めているとのことである。

問 原市沼の整備に合わせて、多様な人が利用できる施設を整備してほしいが、調節池の周辺利用についての考えは。

答 本市では、北本県土整備事務所に対し、整備に際してはビオト

こども医療費 通院費助成も18歳まで実現!

樋口 敦(政策・市民の声)



問 今定例会で議案提出に至った経緯は。

答 令和5年9月の県議会で知事が県の補助金拡充を示唆し、これを受け令和6年度以降はこども医療費に関する財源の拡充が見込めることから、対象年齢を拡大し、高校生世代の通院医療費を無償化する

答 7月に埼玉県河川環境課が原市沼調節池を核にしたにぎわいづくりに関する意見交換のため、本市にも来訪している。なお、県は今後情報共有のための勉強会を始めていきたくのことである。

答 7月に埼玉県河川環境課が原市沼調節池を核にしたにぎわいづくりに関する意見交換のため、本市にも来訪している。なお、県は今後情報共有のための勉強会を始めていきたくのことである。

その他の質問

- 市の財政の見直し
● 自警消防団
● 生産緑地

投票率向上に向けて 新たな取り組みを

田中一崇(上尾同志会)



問 12月の市議会議員一般選挙について、年別投票率を伺う。

答 期日前の投票率は20歳から24歳が4・65%で最も低く、70歳から74歳が18・39%で最も高かった。また、当日は25歳から29歳が10・5%と最も低く、75歳から79歳が34・09%で最も高かった。

問 投票率向上に向けて、議会としても市議会紹介動画を作成し、小・中学校への訪問事業を提案したいと考えているが、当局の啓発の取り組みは。

答 毎年、市内の小生から高校生を対象に明るい選挙啓発ポスターコンクール作品を募集している他、「上尾

その他の質問

- 学校生活
● 道路行政
● 定住促進

答 現在、会場の提案や図面などの資料提供を受けている。今後は、投票所の設置に向けて具体的に検討していく。

妊娠、出産、産後、子育てと、安心できる街へ



原田嘉明 (上尾同志会)

**出産、産後ケアを含む子育て支援**

**問** 取り組み状況は。

**答** あげお版ネウボラ、子育て世代包括支援センターの開設など妊娠前から切れ目のない伴走型支援を実施している。具体的には、妊婦への電話相談支援、産婦・新生児訪問の他、産後に育児不安を抱える人などには宿泊型・デイサービス型・アウトリーチ型の産後ケア事業により育児支援を行っている。今後に向けて、利用者負担の軽減措置の検討や、夜間・休日でも気軽に医師に相談できるオンライン母子保健相談事業の試験運用を行っている。

**児童・生徒の教育環境**

自動交付機導入により各種証明書発行が便利に!!



浦和二郎 (政策・市民の声)

**問** 過去5年間で、住民票などの証明書のコンビニにおける交付件数はどの程度あるか。

**答** 平成30年度が4418件、平成31年度が6040件、令和2年度が1万5311件、令和3年度が1万9732件、令和4年度が2万9604件となっており、毎年増加傾向にある。

**問** 12月補正予算で証明書自動交付機導入業務として1826万3千円の債務負担行為があるが、自動交付機導入により、証明書発行センターの業務がどのように変化することを期待しているのか。

**答** 証明書自動交付機(キオスク端末)を設

その他の質問

● 道路を含めた市保有地の地目等の登記状況

● 運転免許返納者を含む交通弱者への対応と考へ

● スポーツ科学拠点を含む、県への要望活動と進捗

通学路の安全対策を



戸口佐一 (日本共産党)

**問** 市民から、市道に高木の枝が覆いかぶさり、折れて落ちそうだと連絡を受けた。通行人や通学路として利用する児童に落下する可能性があったため、市に対応するよう求めたが、まずは所有者に連絡するしかないとのことであった。こうした市道にかぶさる樹木に違法性はあるか。

**答** 市道の所有権を侵害する不法占有となるため、民法上の違法性があると考えられる。

**問** この道路は上平北小学校の通学路だが、教育委員会は学校や関係児童、保護者にとどのような対応をしたか。

**答** 学校では、連絡を受けた当日の給食の時

その他の質問

● 職員研修と視察

● CO<sub>2</sub>削減の実効ある対策を

# デマンド乗り合いタクシーなど 公共交通の充実を



池田達生 (日本共産党)



**問** 令和7年度から、「ぐるっとくん」が各コース平均1便増える一方で、料金が100円から200円になる予定である。市民負担が増えないような配慮をお願いしたいが、増額の根拠を伺う。

**答** 市内路線バスを運行する各社も200円に改定しており、「ぐるっとくん」においても持続可能で安定した運行を図る必要がある。なお、未就学児と障害者および介護者1名は引き続き無料とし、加えて75歳以上の高齢者と小学生の運賃は100円を維持する。

**問** 高齢者の外出機会を増やし健康を保持する上で、デマンド乗り

合いタクシーを導入する自治体が増えている。9月の決算特別委員会で共産党議員団の提案した「デマンド交通などの先進事例を具体的に検討する」提言が全会一致で採択されたが、市の見解を伺う。

**答** 民間事業者によるAIを活用したデマンド交通などの情報収集や民間事業者との意見交換を行っている。市としては、計画の重点施策として位置付けている「ぐるっとくん」の見直しを優先的に進めながら、タクシーなどの活用方法も引き続き調査研究していく。

**その他の質問**  
● 学校再編計画は、児童・生徒保護者、地域の声を聞いて戸崎公園他の公園の整備は地域街づくりの視点で

# 精神疾患への理解と支援を



佐藤恵理子 (無党派)



**問** 私の経験上、精神疾患は偏見を持たれやすく理解も得られにくい。患者は増加傾向にある。市職員にも、精神疾患で休職している人はいるのか。

**答** 令和4年度中に精神疾患で休職した正規職員は、16人である。

**問** 精神疾患で休職している市職員への理解と啓発について伺う。

**答** 職員課に精神保健福祉士を配置し、病休の職員を支援している。また、精神疾患により2カ月以上の長期休職に至った場合には、復職に当たり個々の病状に合わせて職場でのリハビリ期間を設けており、休職者本人と職場の双方に対して復職支

援を行っている。

**問** リハビリ期間にはどのようなケアを行っているのか。

**答** リハビリ実施の可否については、当該職員が主治医からリハビリ実施可能との診断を得た上で、産業医面談を行い判断している。リハビリ実施に当たっては、徐々に体調を慣らすために、週3日・半日程度の勤務から開始し、1カ月から3カ月の間で勤務日数や勤務時間を増やすようにしている。最終的には、リハビリ期間の勤務状況を見て、フルタイムでの勤務が継続できると判断されれば正式に復職となる。

**その他の質問**  
● 自殺対策  
● 問題のある家庭  
● インターネット上の誹謗中傷

# 利用しやすい介護保険制度に



轟 信一 (日本共産党)



**問** 介護予防の取り組みについて伺う。

**答** 「アツピー元気体操」などの通いの場を実施する団体を対象とする補助制度などがある。また本年度から新たに「シルバーエスポート体験会」を開催しており、さらなる推進を図っていきたい。

**問** 紙おむつ給付事業の取り組み状況は。

**答** ドラッグストアなどで対象商品を購入後に補助金を申請し振り込みを行う償還払いの方法と、市内12カ所の指定薬局で紙おむつ券と商品を交換する方法がある。指定薬局では、市内全域にわたり配達可能な状況である。

**問** 特別養護老人ホームの待機者数を伺う。

**答** 令和4年度は191人である。

**問** 今後、特養ホームを設置する予定は。

**答** 令和6年度に大石地区の既存施設で72床の増床、令和7年度に上平地区の既存施設で66床の増床、上平地区で100床規模の施設を新設する予定である。

**問** 介護事業所への支援の内容は。

**答** 外国人技能実習生などを雇用した際に補助金を交付する他、本年度は物価高騰などの対応として各事業所に10万円を給付した。今後、さらに同額の給付を予定している。

**その他の質問**  
● 大石地域の通学路等の交通安全対策の強化を  
● 子どもたちが安心して暮らせる学童保育所に

### 不登校・ひきこもりの

### 支援の充実を



新藤孝子 (日本共産党)



**問** 2022年度、全国の不登校の小・中学生は約30万人で、過去最多となった。市では小学生が126人、中学生が308人とのことであるが、不登校児童生徒が減らない要因は何か。

**答** 学校生活や人間関係への不安、インターネットやゲームの影響、家庭環境の複雑化などに加え、コロナ禍をはじめとした社会情勢や生活環境の変化により登校意欲が湧きにくい状況になったことなど、さまざまな要因が絡み合っている。

**問** 学校外で多様な居場所はあるのか。

**答** 教育センターや、民間施設であるフリー

スクールなどがある。

**問** フリースクールなどへの支援は。

**答** 経済的支援は現在行っていないが、先自治体の調査や民間施設への訪問を継続している。

**問** 教育センターに不登校の相談で来所している人数は。

**答** 保護者のみの相談を含め、令和4年度は小学生が103件、中学生が108件である。

**問** 教育センターの支援内容を伺う。

**答** 教育相談員による電話・来所・電子メール・訪問などの形態で個別に相談を行っている。また、スクールソーシャルワーカーによる訪問も行っている。

#### その他の質問

- 特別障害者手当の対象者の拡充と周知を
- マイナンバーカード

### 市民のくらし福祉応援の

### 予算を



平田通子 (日本共産党)



**問** 物価高騰対策として、日本共産党は全ての市民への支援を求めてきたが、そうした支援がない。北本市は1年間の給食費無料化、蕨市は全市民への生活応援クーポン券の配布を行った。本市でこうした支援を実施しない理由を伺う。

**答** 国の臨時交付金の使途として物価高騰の影響を受ける住民や事業者を対象としていることや、本市の将来的な財政運営への影響などを踏まえ、特に影響を受けている人を中心に支援を実施している。

**問** 人口は微増し、市税収入も増えており、令和2、3年の実質収支は30億円の黒字である。

る。市の貯金となる財政調整基金は3年間で2倍に増えているが、市の認識は。

**答** 令和5年度予算編成に当たり約32億円の基金を取り崩していることから、今後も適正な財政運営が必要であると認識している。

**問** 追加補正予算の小・中学校給食費の保護者負担の助成、自治会への補助などを歓迎するが、市長はどのように市民生活を支え、地域活性化をするのか。

**答** 子育て世帯や事業者などへの対策を講じてきた。物価高により市民生活に影響が出ていることから、今後も国や県の交付金を活用し適切に対応していく。

#### その他の質問

- 労働環境の整備を
- 子どもをとりまく環境の整備を

### 環境政策 / 交通政策



矢口豊人 (政策・市民の声)



**環境政策**

**問** 省エネ、再エネを推進するには、電気自動車(EV)に充電した電気を家に給電する他、太陽光から給電した電気をEVにも使えるという循環型の仕組みが肝になる。防災力を高める意味でも、こうしたV2Hなどの設備導入への補助制度を創設すべきではないか。

**答** 太陽光で発電した屋間の電力を給湯器で活用したり、V2Hで電気自動車に充電したりすれば、発電した電気を効率よく自家消費できる。電力供給が停止した災害時などには、電気自動車から家庭に電力供給が可能となる。市としてもV2Hなど

EV充電設備の普及拡大を検討していく。

#### 交通政策

**問** 第二産業道路原市平塚工区の開通後、道路渋滞が増えているという声がある。通勤・通学時間帯は大型車両の進入に制限を設ける、あるいは上尾市役所前交差点に左折レーンを作るなど、具体的な対策が必要ではないか。

**答** 直進と左折車のレーンが同じ車線のため、自動車で交差点を左折しようとする場合、青信号でも同じ方向に渡るうとして歩行者がいる限り左折できず、後続車の進路を妨げてしまう。歩行者と自動車の信号処理に時間差を設けることにより渋滞緩和を図っているが、さらなる対策の必要性を関係者と協議、検討していきたい。

児童保育所の校舎内移転を進め  
児童の安全確保を



新道龍一（上尾同志会）



**問** 上平北小学校の学

童保育所は学校敷地外にあるため、大変交通量の多い道を歩いていかなければならない。令和2年度に市が作成した行政改革プランには「転用可能教室を活用した放課後児童クラブ等の設置を進める」と掲げられている。共働き家庭が増え、少子化とは反比例して学童需要が高まっている中、上平北学童保育所を校舎内に移転する考えはあるか。

**答** 転用可能な教室などについては、関係機関と協議、検討を行っているところである。行政改革プランや本年度末策定予定の学校施設更新計画実施計画を

踏まえつつ、引き続き検討を進めていく。

**問** 上平北小学校から

児童保育所までの道路は見通しが悪く、児童の安全面から考えると、学校敷地内に移すことが望ましいと考える。この道路の危険性について、市の認識は。

**答** 上平北小学校から

南へ約500メートルの場所に学童保育所があるが、その通所経路には、横断歩道や路面標示、カーブミラーなどを整備し、安全の確保を図っている。またNPO法人あげお学童クラブの会の職員が児童を学校まで迎えに行き、学童保育所への通所に付き添う送迎支援を実施している。

その他の質問

- 消防・救急体制
- 道路行政
- 期日前投票所

議会改革（令和2年9月～令和5年12月）

令和2年9月に設置された議会改革特別委員会（定数10人）では、議会基本条例の制定を優先し、26回にわたり協議を重ねました。これまでの主な実施項目について、概要をお知らせいたします。

■議会基本条例の制定

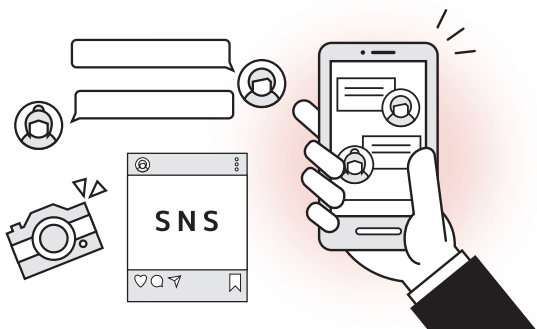
令和5年6月定例会において可決し成立した同条例は、前文と議会の目的や役割、活動原則の他、市民・市長などとの関係、議会運営、議会の機能強化など、幅広い内容を規定した全37条から構成されています。前文に記載されているとおり、揺るぎない地方政府の確立のため、市民福祉の増進と市政の健全な発展を目指すことを目的とした議会の最高規範となるものです。

■災害時の行動方針、感染症まん延時のBCP、議会のBCPについて

「上尾市議会業務継続計画（いわゆる「議会BCP」）」を令和3年12月に策定しました。非常時においても議会機能を維持し、市民の安全確保と災害復旧に向け、市との連携を十分取って、迅速かつ適切な災害対応の活動が行えるよう、必要な組織体制や議会および議員の基本的な役割などが定められています。

■SNSなどの情報発信の基準

議員がSNSを利用して情報を発信するに当たり、「最低限のルールや統一のルールを設ける必要がある」という意見があり、令和5年10月に「上尾市議会ソーシャルメディア運用ガイドライン」を策定しました。



目的

一度発信した情報を完全に削除することは困難であるため、議員がソーシャルメディアを利用し情報を発信する場合の留意すべき事項などを定めるものです。

留意すべき事項

- ・良識ある情報とすること。
- ・基本的人権、肖像権、プライバシー権、著作権などに十分留意すること。
- ・正確を期すとともに、誤解を招くことのないよう努めること。 など8項目

発信すべきでない情報

- ・特定の人への利益誘導を目的とする情報
- ・不敬な言い方を含む情報
- ・差別的な表現を含んだ情報
- ・非公開の会議の内容に関する情報 など8項目



3月定例会会期予定表

- 2月16日 開会
- 21日 質疑、予算特別委員会の設置、委員会付託
- 22・26～28日 予算特別委員会
- 3月1日 委員会 (総務、都市整備消防)
- 4日 委員会 (文教経済、健康福祉)
- 5日 予算特別委員会
- 7・8・11～14日 一般質問
- 19日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

\*3月定例会は、2月16日(金)に開会予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、2月13日(火)午後5時までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<https://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 小池 佑弥
- 副委員長 稲村久美子
- 委員 黒須喜美雄
- 委員 田島 純
- 委員 篠原文子
- 委員 島津 秋男
- 委員 井上 淳子
- 委員 荒川 昌佑

委員会活動

R5.11.16 ~ R6.1.15



文教経済常任委員会の審査



健康福祉常任委員会の審査

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	12/13	・12月定例会提出議案6件、請願1件を審査
	12/21	・12月定例会提出議案1件を審査
	1/10	・正副委員長の互選
文教経済常任委員会	12/14	・12月定例会提出議案1件、請願2件を審査
	12/21	・12月定例会提出議案1件を審査
	1/10	・正副委員長の互選
都市整備消防常任委員会	12/13	・12月定例会提出議案7件を審査
	1/10	・正副委員長の互選
健康福祉常任委員会	12/14	・12月定例会提出議案6件を審査
		・所管事務調査「健康福祉常任委員会から市に対する提言の進捗状況」
	12/21	・12月定例会提出議案1件を審査
	1/10	・正副委員長の互選
議会運営委員会	12/7～12/25	・議会運営について協議(協議回数7回)
	1/10	・正副委員長の互選および議会運営について協議(計3回)
議会改革特別委員会	12/5	・報告書および委員長報告について他
議会報編集委員会	12/12	・「あげお議会だよりNo.209」「あげお議会だよりNo.210」について協議
	1/10	・正副委員長の互選

他市からの行政視察

1月15日 京都府宇治市 子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」について

採択された  
請 願

令和5年12月定例会において、次の請願が採択されました。  
**上尾市いじめ問題調査委員会 調査に関する請願**  
 請願者／神田和彦氏  
**期日前投票所を市内の東西南北にバランスよく設置することに関する請願**  
 請願者／近藤泰介氏

— 意見書4件を原案可決 —

12月定例会では、議員提出議案として意見書6件を提出し、4件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

- ◆「質の高い公教育」に向けた教員の処遇改善と人材確保を求める意見書  
提出先⇒内閣総理大臣 文部科学大臣 衆議院議長 参議院議長
- ◆介護従事者の処遇改善を求める意見書  
提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長
- ◆最低賃金の引き上げと格差是正の実現を求める意見書  
提出先⇒内閣総理大臣 厚生労働大臣 経済産業大臣 衆議院議長 参議院議長
- ◆ガザ地区での即時の人道的停戦に向けた外交努力を求める意見書  
提出先⇒内閣総理大臣 外務大臣 内閣官房長官 衆議院議長 参議院議長